

太成学院大学 内部質保証の方針

1. 内部質保証の方針

太成学院大学（以下、「本学」という）は、その使命、目的を実現し、自ら行う教育、研究及び社会貢献について、質の向上を図るとともに、適切な水準であることを自らの責任において明示し、内部質保証の取り組みを恒常的に推進するものとする。

本学の内部質保証の推進に責任を負う組織は、自己点検・評価会議とし、内部質保証推進プロジェクトにおいて、学内の内部質保証の推進を行う。

2. 内部質保証の組織体制

本学において内部質保証は、学長を議長とする教育職員と事務職員の管理職で構成された教職協働の自己点検・評価会議が中心となり、内部質保証推進プロジェクトにより推進する。

教育研究活動、学生支援活動に関する情報収集・分析は学長室 IR 部門を中心に事務局各課や学部・学科、全学組織がそれぞれ行う。得られた情報は各種会議体へ提供する。

※太成学院大学 内部質保証 体系図・PDCA サイクル図

1) 自己点検・評価会議

本学における内部質保証の推進に責任を負う組織とする。学部・学科、全学組織等からの評価・検証の結果を全学的な観点で評価・検証し、その結果を学長に報告するとともに学部・学科、全学組織等に対して改善・改革等の策定の指示を行う。

学部・学科、全学組織等は、改善・改革等の策定を行い、学長にその策定案を報告・提言する。

2) 大学運営会議

学部・学科、全学組織等で策定された改善・改革等の策定案に基づいた方針・計画は、大学運営会議に諮問する。

大学運営会議に諮問の後、教授会の議を経て、学長が方針・計画の決定を行う。

3) 学長室 IR 部門

教育研究活動や学生支援活動に関する情報収集・分析を行い、各種会議体へ情報提供を行う。情報収集・分析は、主に全学的な内容について行う。

3. 内部質保証の PDCA サイクル《太成学院大学 内部質保証 体系図・PDCA サイクル図》

本学において内部質保証の PDCA（方針・計画（Plan）→実行・実施（Do）→評価・検証（Check）→改善・改革（Act））は、太成学院大学 内部質保証 体系図・PDCA サイクル図に則って行う。

評価・検証（Check）において自己点検・評価会議から学長に評価・検証の全学的な結果を報告する。

改善・改革（Act）は、学部・学科、全学組織等からの改善・改革等の案を策定し、学長にその策定案を報告・提言する。

方針・計画（Plan）は、策定された案を大学運営会議に諮問し、教授会の議を経て、学長が方針・計画を決定する。

決定された方針・計画に則り、学部・学科、全学組織等が実行・実施（Do）する。

以後、PDCA サイクルに則り内部質保証を不断に行う。